

近代プラネタリウム誕生 100 周年！

プラネタリウムについて知ろう！



⑥プラネタリウム施設の目的

近代プラネタリウム誕生 100 周年を記念した連載も 6 回目となりました。今回はプラネタリウム施設の目的についてご紹介します。

全国には 300 近くのプラネタリウム施設がありますが、その設置目的は施設によって異なります。日本プラネタリウム協議会発行の『プラネタリウムデータブック 2020』（右下図）によると、設置目的として最も多いのが「科学・天文学の普及と理解促進」、次いで「学校教育の補助」、「生涯学習の推進」と続きます（複数回答可）。府中市郷土の森博物館の設置目的は、「市民の教育、学術及び文化の発展に寄与すること」なので、右下図の項目では、「科学・天文学の普及と理解促進」「学校教育の補助」「生涯学習の推進」「豊かな文化環境の形成」に当たります。では、目的達成のために、当館プラネタリウムで、どのような取組をしているのかみてみましょう。

まず、「科学・天文学の普及と理解促進」「生涯学習の推進」については、番組を通して、市民の皆さんに星や宇宙に興味や関心を持ってもらい、さらに実際の星空を見たいと思ってもらえるように、ターゲットに合わせた投映を行っています。子供向けや大人向けの番組を用意し、私たち解説員が分かりやすい言葉で伝えることで、楽しみながら星や宇宙、天文現象について知ることができます。投映を見たあとに、観覧者が実際の夜空を見て、宇宙に思いを馳せたり、科学的な事柄を自分の知識の中に収めて、人生をより豊かにしてもらえるように努めています。

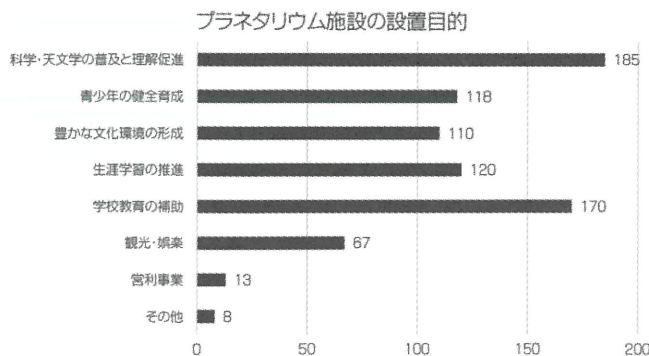
次に、「学校教育の補助」については、当館では学校教育にも貢献するため、プラネタリウムの学習利用を受け入れています。教室では扱いづらい星の観察や天体の動きについて、学習指導要領に則った内容で、プラネタリウム機

能とドーム空間を存分に活かした投映を行っています。星空が正確に再現されているだけでなく、日周運動や年周運動なども再現できるため、高い学習効果が望めます。さらにデジタルプラネタリウムの導入によって、地上から見た星空だけでなく、宇宙空間まで再現できるようになり、児童・生徒の興味や関心をより高めています。

また、「豊かな文化環境の形成」については、星や宇宙だけにとどまらないプラネタリウムの活用を行っています。例えば、2021 年の東京オリンピックのライブ中継をプラネタリウムで行い、多くの市民の皆さんにドーム空間ならではの臨場感で競技を楽しんでいただきました。そのほかにも、コンサートや演劇、講演会など、市民の皆さんが文化に触れる機会を提供しています。

ここまで当館プラネタリウムの目的と取組についてみてきましたが、下図のとおり、プラネタリウム施設の目的は、施設によってさまざまですので、ご自身の見たいもの、体験したいものに合ったプラネタリウムを探してみるのも楽しいかもしれません。

当館プラネタリウムは、これからも市民の皆さんの教育、学術、文化の発展に貢献できるよう日々努めてまいりますので、ぜひお越しください。（上野アイ子）



日本プラネタリウム協議会 編集発行『プラネタリウムデータブック 2020』より